保護者の方への大学案内

CAMPUS GUIDE FOR GUARDIANS



無限の可能性、ここが最先端 — Outgrow your limits —





最先端の研究環境を備えた 大学院生のための大学

♥ 長 塩﨑 一裕

奈良先端大は、学部を持たず、科学技術研究と大学院教育に特化した、国立大学法人の中でもユニークな存在です。欧米のトップレベルの大学院と同様に、他大学の卒業生や社会人、留学生など多様な学生が集まり、体系的なカリキュラムで専門知識を修得するとともに、最先端の研究に取り組む中で多面的で高度なスキルを身につけています。

かつて大学院は、研究者や大学教員を志す学生が進学するところでした。科学技術の発展に伴って急速に変化する社会は、高度な専門性を持って様々な課題に挑戦できる人材を求めており、本学で修士号・博士号を取得した学生の進路も大学はもとより、多様な産業分野や起業にまで拡大しています。

変容を続ける社会が求める幅広い知識と応用力、そして創造性を持って未来を切り拓く 人材を育成するために、本学は2018年4月に従来の情報科学、バイオサイエンス、物質創 成科学の3研究科を統合した先端科学技術研究科を設置しました。歴史・文化・自然に 富んだ奈良の地で、奈良先端大は世界最先端の教育研究を追求し続けます。

新たな可能性への挑戦

先輩VOICE 進学のキッカケ

Information Science



ユビキタスコンピューティング システム研究室 博士前期課程 吉川莉央素。

研究意欲を刺激される日々。

学部在籍時から研究に没頭できる環境を求めていまし た。あるイベントで奈良先端大の在学生と話ができ、充実 した研究設備やモチベーションの高い学生と切磋琢磨で きることを知り、進学を決断しました。私のように研究の 関心が変わり、研究室を移ることも可能です。親も「好き なことをするべき」と背中を押してくれています。

Biological Science



ストレス微生物科学研究室 博士前期課程 中上和毅士和

研究設備も、指導体制も。

現在の研究テーマを専門的に学べる環境が大学になく、 それが可能な設備が整っている奈良先端大に魅力を感じ て進学しました。研究が計画通りに進まない時もあります が、教官や先輩にしっかりとサポートしてもらえ、指導体 制にも恵まれています。親からも研究生活に支障がないよ う食事面を中心に支えてもらい、感謝しています。

Materials Science



博士前期課程

新しい研究を始められる場所。

大学院では応用研究をしたいと考えていました。大学院 を調べる際、名だたる研究者が奈良先端大で教授をされ ていることを知り、この環境で学びたいと思いました。ま た、ここには学部がなく内部進学者がいないため、スター トラインが皆同じ。新しい研究を始めることも可能です。 親も「安心できる研究環境だ」と言ってくれます。将来は材 大井田 意純さん 料の分野から社会を支える人材になりたいです。

充実した研究・教育を実現

学生を支える研究環境

国立大学法人中 トップクラスの研究力

本学は、国立大学法人の「第2期中期目標期間 (2010年度~ 2015年度)に係る業務の実績に関する評価」において、「非常に優れている」(国立大学86大学のうち5大学)という最も高い評価を得ています。

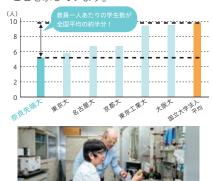
また、「研究論文に着目した日本の大学ペンチマーキング2015(文部科学省/科学技術政策研究所)」では国立大学第2位と、研究力の高さが評価されています。

加えて、本学の教員一人当たりの研究経費 (2019年度)は、全国平均2,566千円を大きく 上回り、5,898千円となっており、非常に高い 水準での研究への投資を行っています。



きめ細やかな 教育研究指導

本学の教員一人当たりの学生数(2019年度)は5.2人であり、国立大学法人平均の9.9人に比べて半数程度となっております。これは、本学において、よりきめ細やかな教育研究指導環境が整っていることを示しています。



グローバル大学院 としての活躍

海外に研究拠点を設置するとともに、本学 内に国際共同研究室を設置し、大学として 国際的な研究者ネットワークの構築を行っ ています。

また、本学では世界44ヵ国/地域と学術 交流協定を結んでおり(2021/1/31現在)、 数か月に渡って海外留学することがで きるプログラムを提供しております。



必要な学費※

入学料 ¥282,000

学年	学年 1年		2年		3年	
学期	春	秋	春	秋	春	秋
授業料	¥267,900	¥267,900	¥267,900	¥267,900	¥267,900	¥267,900

博士前期課程(2年間)

博士後期課程(3年間)

- ※予定額です。入学時及び在学中に学生納付金の改訂が行われた場合には、改正時から新たな納付金額が適用されます。
- ※標準修業年限は博士前期課程2年間(4学期分)、博士後期課程3年間(6学期分)です。
- ※上記のほか、入学時に本学同窓会への御入会をお願いしております。(永年会費2万円)詳細は「受験生のための大学案内」p.28をご参照ください。

充実した経済支援

本学では、経済支援に関する全学的な方針として、「学生への経済的 支援に関する方針」を策定し、同方針に基づき、学生が教育・研究活 動に専念することができるように、大学をあげて、最大限の経済支援 を実施しています。

「5年一貫コース」・・・博士前期・後期課程の標準修業年限(5年)内で一貫して博士研究指導を行うコース。入試合格後及び入学後に申請することが可能です。

①優秀学生奨学制度

優秀な博士後期課程学生の1年次授業料を**全額免除**。 支援対象者は、毎年度15名以内。 優秀学生として表彰。

対象 博士後期課程学生

②社会人学生への奨学支援

企業等に所属している学生の授業料を全額免除又は奨学一時金 20万円を給付。

※入学料及び授業料相当額を所属企業等が負担している者を除 く。応募者の中から審査の上、対象者を決定。

対象 博士後期課程学生

③経済的困窮者に対する授業料免除制度

博士前期及び後期課程学生の経済的困窮者を幅広く支援し、さらに博士後期課程学生のより手厚い支援を実施。

本学の定める免除基準(家計基準及び学業基準)を満たす学生は、過去5年間(2016~2020年度)100%免除認定。

対象 博士前期課程及び博士後期課程学生

④TA・RA 優先採用制度

ティーチング・アシスタント (TA) /リサーチ・アシスタント (RA) に優先的に採用することによって、授業料の半額分を支援し、さらに個々の状況に応じ、追加の支援を実施。

対象 5年一貫コース所属学生及び博士後期課程学生

⑤学生宿舎への優先入居

博士後期課程への進学意欲の高い学生に<mark>優先的に学生宿舎</mark>を提供。

学生宿舎は、寄宿料(共益費込み)で<mark>月額1万円</mark>(※)、インターネット利用料無料、キャンパス近接立地。

※ 単身用居室

対象 5年一貫コース所属学生及び博士後期課程学生

⑥日本学生支援機構貸与奨学金 (第一種奨学金 及び第二種奨学金)への優先推薦

博士後期課程への進学意欲の高い学生を日本学生支援機構貸与 奨学金へ<mark>優先的に推薦。</mark>

対象 5年一貫コース所属学生

⑦長期履修制度

標準修業年限を超えた一定の期間にわたって教育課程を履 修可能。

授業料総額は、標準修業年限分と同額です。

対象 在職中等の事情で、標準修業年限で修了することが困難な者

博士後期課程の魅力



情報機能素子科学研究室 博士後期課程 吉井 大陸なん

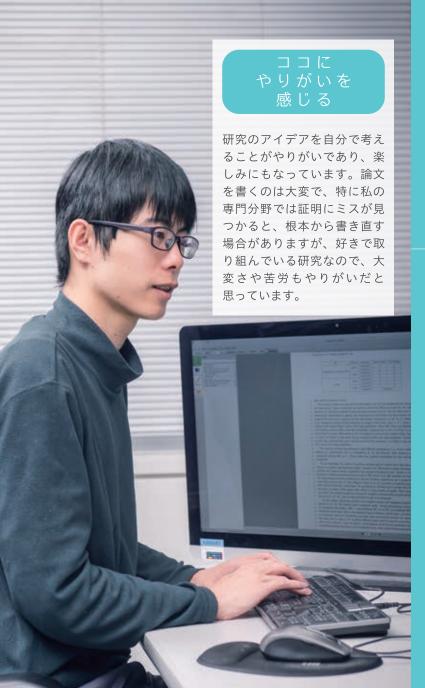
ダイヤモンド半導体の研究をしたくて奈良先端大に進みました。この研究分野は未経験でしたが、奈良先端大は他分野の学生の受け入れに前向きで、また、入学後に研究室を決められる点も魅力でした。そして、前期課程だけではやりたい研究を完結させるには足りず、ダイヤモンドの特異な性質(表面に水素が結合するとそこが半導体の性質を示す)をより深く研究するために後期課程へ進みました。

後期課程のメリットは多くの時間を研究活動に割ける点だろうと思います。主体的で長期的な研究計画を自分で立てる必要がありますし、もちろん計画通りに物事は進みません。それでも研究中心の生活はやりがいを感じさせてくれます。

両親は後期課程進学について反対しませんでした。わがままで学生を続けている私を物心両面で支えてくれています。経済的には先生の補助などを行うTA(ティーチング・アシスタント)制度を利用しており、1年の授業料の半分以上を賄えるので助かっています。

後期課程で学ぶ年齢ですと、同年代の多くは社会に出て 仕事をしているでしょう。引け目を感じることもありま すが、最先端の研究に触れたり試行錯誤したりする経験 は非常に貴重で価値のあるものです。奈良先端大は学費 と時間以上の経験を得られる環境だと感じています。





博士後期課程の魅力



ディペンダブルシステム学研究室 博士後期課程

安見 嘉人さん

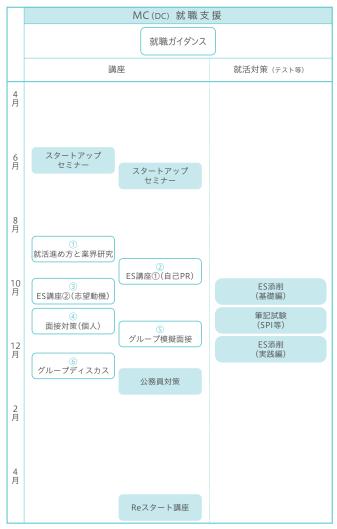
奈良工業高等専門学校時代に分散システムの研究に興味を持ち、インターンシップを通じて奈良先端大を志望しました。入学した当初は、博士後期課程に進むとは思っていませんでした。しかし研究を進めるうちに後期課程の選択肢が芽生えてきました。後期課程修了後の年齢では企業就職に不利になるのではという心配もありましたが、相談した先生に背中を押していただき、決断することができました。

後期課程では自分の研究により没頭して主体的に続けていくことができます。苦労も多いですが、自分が中心になって進める研究が認められたときのうれしさは格別です。問題解決力や論理的思考力といった力も研究を通して培われていると感じます。

兄も大学院に進んだせいか、親は私の決断もすんなりと受け入れてくれました。自分ではどうにもならない学費面などでサポートしてもらい、ありがたかったです。 私はまだ博士後期課程1年で、後期課程の将来性や価値についてハッキリと理解しているわけではありません。

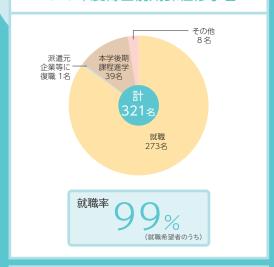
についてハッキリと理解しているわけではありません。 しかし一つ確実に言えるのは、博士後期課程は研究を続ける者にとって、先生方のサポートを受けながら、研究だけをやっていける最高の環境だということです。これからもおもしろそうなことや新しいことにどんどん挑戦して、様々な経験を積んでいこうと考えています。

キャリア支援スケジュール(予定)

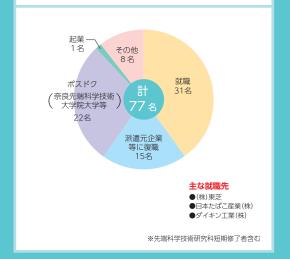


全体の就職

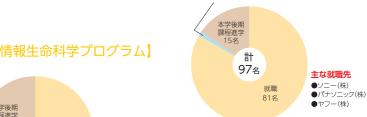
2019年度博士前期課程修了者



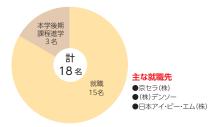
2019年度博士後期課程修了者



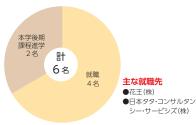
【情報理工学プログラム】 派遣元企業等に復職 1名



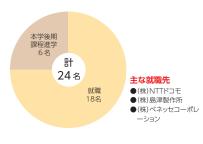
【知能社会創成科学プログラム】



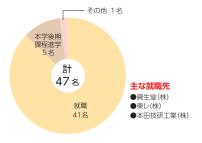
【情報生命科学プログラム】



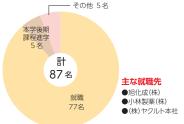
【データサイエンスプログラム】



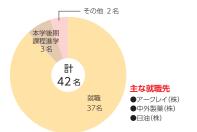
【物質理工学プログラム】



【バイオサイエンスプログラム】



【バイオナノ理工学プログラム】





大学会館

学生および教職員の厚生施設である大学会館 には、食堂(300席)、喫茶室(30席)があり、 学生および教職員の胃袋を支えています。また、 2016年1月には、大学会館横にコンビニエンス ストアが新設され、より便利になりました。



営業時間

セットメニュー 520 円

食堂・喫茶室

月~金曜日/10:00~21:00(オーダーストップ20:30) +曜日/10:00~15:00(オーダーストップ14:30) 月~金曜日/8:00~21:00

+曜日·日曜日·祝日/9:00~17:00

ちょっと気になる

学食の人気メニュー

学食は、うどん・丼物といった気軽なも のから定食(ライス・みそ汁付)・セッ トメニュー・持ち帰り弁当など、値段・ ボリューム・栄養バランス、全てが学生 思いの出来たてメニューがズラリ。



和定食 560 円

日替定食 510 円

ハンバーグ

アラカルト丼 380円



五目ラーメンと チャーシューご飯



お気に入りをチョイス



本学を来訪する国内外からの研究者 をはじめ、学生や教職員も利用するこ とのできる福利厚生施設です。宿泊施 設は手頃な料金で利用することがで き、受験時の宿泊にも利用できます。 また、集会室やフィットネス室が設け られています。



保健管理センター

学生および教職員の身体的、精神的健 康の保持・増進をはかることを目的と しています。内科医師及び看護師が常 駐しており、定期健康診断、応急処置、 健康相談、カウンセリング等を行って います。また、診察室、談話室、休養室を 設けています。





1ヶ月 1,500円 3ヶ月 4,000円 6ヶ月 7,500円

※定期駐車券が必要です。



宿舎環境

本学では、709戸の学生宿舎を用意しています。

学生宿舎へ入居することが、十分な研究時間の確保と経済的な負担の軽減の一助となっています。

24時間体制で研究活動をサポートするため、宿舎にいながらでも、附属図書館や国内外の学術研究機関のネットサービスを利用できるネット環境を提供しています。 国際的な視野を持つ人材を育成することを目的として、2021年4月から日本人学生・外国人留学生のシェアタイプ型学生宿舎を新設しました。

また、学生宿舎以外にも、下宿探しの一助として、大学周辺の(独)都市再生機構(旧日本住宅公団)の賃貸住宅を大学が借り上げ、希望者に提供しています。家賃は3万5千円~5万円程度となっています。

学生宿舎入居者の 月々の生活費(例)

収	奨学金	50,000 _円
入	仕送り	50,000 _円

住居費 10,000 円 (うち共益費 4,100円) 光熱費 1,000円 水道代 1,000円 ガス代 0円

食費 25,000 m 生活用品その他 5,000 m 交際費 5,000 m 趣味・娯楽 5,000 m



学生宿舎



宿舎までは歩ちかなので便利です

機能有機化学研究室 博士前期課程 大井田 意純さん









入居者の選考方法

入居者の選考は、入学試験の成績をもとに決定します。



単身用居室

2020年度入学者に係る入居率

博士前期課程	博士後期課程	
46%	100%	

※2020年12月1日現在(年度途中入居者含む) ※留学生を除く

	単 身 用	
居室数	559室	
居室面積	13m²	
設備等	机、ベッド、ミニキッチン、トイレ等	
共有設備	浴室、ランドリー室、ラウンジ	
寄宿料(共益費込み)	月額 10,000円	
光熱水料	入居者負担	
インターネット回線	無料	

※単身用の他に夫婦用、家族用、シェアタイプの部屋もあります。

私のキャンパスライフ

通学編



ユビキタスコンピューティングシステム研究室 吉川 莉央さん

普段は一人暮らしの部屋から研究室まで自動車で 通学しています。研究室にいる時間も好きです が、人間関係が研究室に限られると閉鎖的になっ てしまうので、休日はアルバイトをしたり、友人 と買い物に出かけたり、"外"に目を向けて好きな ことをしています。運動不足は気になるところ。 空いた時間にランニングをしたり、休日にできる だけ歩いたりと気をつけています。食事面ではや はりバランスのいい食事を意識していて、両親が 送ってくれる米や野菜などがとても助かります。

1Day スケジュール

10:00 起床·朝食

朝食はその日の気分で食べたり食べなかったり…。

12:00 昼食

13:00 通学

自動車で約15分でキャンパスです。

13:30 研究室

19:00 夕食

学食を利用したり、近隣で外食したり。

22:00 帰宅

買い物に寄って帰ることもあります。

22:30 入浴、家事

23:30 パソコン

時には研究に関することもやりますが、リラックスした気分で動画などを見て過ごします。

27:00 就寝

My Campus Life

















私のキャンパスライフ 宿舎編



機能有機化学研究室 博士前期課程

大井田 意純さん

学生宿舎のメリットは登校に時間がかからないこと。その分、自分の時間に使えます。また、住居費はもちろん、電気代や水道代も安く、アルバイトするよりも、研究優先の生活なので助かっています。研究室の仲間とランニングをしたり、学内コートでテニスをしたりするのもいい息抜きです。休日は映画鑑賞やラーメン屋巡り。普段から研究とプライベートにメリハリをつけることを大切にしていて、平日も実験が終わって帰宅後は趣味などの時間に充てられるように心がけています。

1Day スケジュール

08:00 起床

朝食と洗濯。

09:00 実験開始

午前中は実験の仕込みです。

12:30 昼食

学内のコンビニや食堂で済ませます。

13:30 実験の続き

午前中に仕込んだ実験の精製をします。

19:00 夕食

夕食後はその日の実験の解析を行います。

21:00 帰宅

入浴後は趣味(映画や音楽鑑賞)の時間です。

24:00 就寝



My Campus Life













キャンパス周辺

奈良先端科学技術大学院大学は、生駒市北部の自然豊かなエリアにあります。市街地の喧騒は届かず、研究に集中できる環境です。近鉄線の駅まで原付バイクや路線バスなどを利用すれば、電車で大阪難波や京都へ30分強でアクセスできます。学生が利用できる駐車場代が安いため、自動車派も増えています。近鉄沿線周辺には複合商業施設やレストランなどが点在し、在学生たちはゆとりと便利さを兼備した環境で研究活動に励んでいます。





保護者からのメッセージ

自分の道は自分で切り開く力 を奈良先端大で養ってほしい です。

高校で理系を選択した時点で、大学院へも 進むのだろうと考えていました。子どもか ら奈良先端大という選択を教えられたと き、その選択に任せようと考えましたが、 オープンキャンパスに行って雰囲気を知っ たり、情報を入手したりするようにという アドバイスはしました。

進学後は、学部で学んだことを奈良先端大で生かせるのかという親の不安をよそに、素晴らしい先生方からのご指導や恵まれた研究設備、手厚い学生支援の中で充実した大学院生活を送っているようです。先生方や学友から多くのことを吸収し、社会に貢献できる力、やり抜く力の向上、自分の切り開くという力を養ってほしいと考えています。

中上和毅さんのお父様 中上 政明さま



●近鉄けいはんな線

学研北生駒駅下車 奈良交通バス「高山サイエンスタウン」行で約8分

●近鉄京都線

●近鉄奈良線

高の原駅下車 奈良交通バス「高山サイエンスタウン」行で約25分 学園前駅下車 奈良交通バス「高山サイエンスタウン」行で約25分

NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY

奈良先端科学技術大学院大学

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5 奈良先端科学技術大学院大学 教育支援課電話/0743 (72) 5083・5084 FAX/0743 (72) 5014 メールアドレス/exam@ad.naist.jp/ホームページ/https://www.naist.jp/



